

Annual Report of Innovation Center for Educational Resource

2011

九州大学附属図書館 付設教材開発センター年報 2011



教材開発センター年報 2011 目次

- 01 はじめに
- 02 メンバー
- 03 研究内容紹介
 - 04 藤村 直美 (芸術工学研究院 教授・総長特別補佐)
 - 06 吉田 素文 (医学研究院 教授・附属図書館副館長)
 - 08 岡田 義広 (システム情報科学研究院 准教授)
 - 10 井上 仁 (情報基盤研究開発センター 准教授)
- 13 部門紹介
 - 14 エデュケーショナルテクノロジー部門
 - 14 コンテンツデザイン部門
 - 14 オープンエデュケーショナルリソース部門
- 15 活動紹介
 - 16 講演会開催
 - 17 イベント参加
 - 18 学会等の参加
 - 19 記者懇談会 (プレスリリース)
- 21 講習会
- 23 資料
 - 24 教材開発センター組織
 - 24 組織図
 - 24 運営委員会
 - 25 撮影実績
 - 25 公開コンテンツリスト
- 27 広報
 - 27 ウェブサイト

はじめに



教材開発センター長 藤村直美

教材開発センターは2011年4月に九州大学附属図書館付設として設置されました。センターの目的は、教員自らが高品質の教材を制作できる環境整備を行うことを通じて、九州大学全体の教材の質を改善し、ひいては教育の質を向上することにあります。そのために、教員が教材を制作する際に支援を行う、センター独自に革新的な教材や教育方法を開発・提案・普及するなど、教材開発センターは様々な活動に取り組んでいきます。これに類似したセンターは他大学にはなく、ユニークな目的と活動内容を持ったセンターです。

センターは目的を達成するための組織として次に示すように3つの部門で構成されています。

○エデュケーショナルテクノロジー部門：

自律的な学習能力および実践力を育成する教育技術の開発

○コンテンツデザイン部門：

魅力あるコンテンツの作成技法や作成効率を高める作成ツールの開発

○オープンエデュケーショナルリソース部門：

知の公共化と学びの共同体の醸成

設立当初は、4名の協力教員（教授2名、准教授2名）で活動を始めました。当初は、協力教員が中心になって講習会や講演会を企画し、教員の意識改革や教材制作のためのノウハウ提供などに注力しています。例えば、2011年度には、Web学習システム関連（19回）、Handbook講習会（5回）、新Web学習システム講習会（4回）を実施しました。またMITの宮川繁教授にお願いして「オープンコースウェアとオープンエデュケーション」というテーマで世界のオープンエデュケーションの動向について講演をして頂いたのを始め、他2件の講演会・研修会を実施できました。

2011年度の予算のメドがついた9月から事務補佐員1名、テクニカルスタッフ2名を雇用でき、実務的な作業をさらに強力に進めることができるようになりました。教材開発センターが設置される前から有志の教員で行っていた授業を録画したビデオ教材の公開、講義資料を公開するOCW（OpenCourseWare）としての活動などを推進しています。さらにCG（Computer Graphics）を活用した高度にインタラクティブな高品質教材の開発、新しい教授法の提案と普及促進など、新しい試みにも挑戦しています。

このように様々な方法で準備したオンライン教材はできるだけネットワークを活用して世界に公開し、何時でも、何処でも、誰でも、自律的に、自分のペースで、自由に学習できる学修環境の実現を目指しています。この活動を通じて、九州大学の教育レベルをあげるだけでなく、幅広い学修環境の提供を通じて、広く社会への貢献を目指しています。

皆様のご理解とご協力をお願いします。

メンバー

Staff Members

2012年3月

センター長 Director

藤村 直美 (芸術工学研究院 教授・総長特別補佐)
Naomi Fujimura (Professor, Faculty of Design / Executive Adviser to the President)

協力教員 Collaborator

吉田 素文 (医学研究院 教授・附属図書館副館長)
Motofumi Yoshida (Professor, Faculty of Medical Sciences / Vice Director of Library)

岡田 義広 (システム情報科学研究院 准教授)
Yoshihiro Okada (Associate Professor,
Graduate School of Information Science and Electrical Engineering)

井上 仁 (情報基盤研究開発センター 准教授)
Hitoshi Inoue (Associate Professor, Reserch Institute for Information Technology)

研究内容紹介

Annual Report of
Innovation Center for
Educational Resource

2011

藤村 直美

(芸術工学研究院 教授・総長特別補佐)

→ 所属学会名

ACM, IEEE, 情報処理学会, 電子情報通信学会, 芸術工学会, アジアデジタルアートアンドデザイン学会.

→ 主な研究テーマ

- ・ 共同利用センターにおける管理・運営に関する研究
キーワード: 情報処理センター, 管理・運用, ネットワーク, コンピュータ
- ・ コンピュータとインターネットを活用した教育
キーワード: 遠隔教育, e-Learning, VOD
- ・ 視覚障害者支援システムの開発と実用化
キーワード: 視覚障害者, ネットワーク

→ 研究業績

- ・ 学会発表等
1. Naomi Fujimura and Hitoshi Inoue, The past, present, and future of OCW activity in Kyushu University, OpenCourseWare Global 2011, 2011.05.
 2. 藤村直美, 大学におけるICTマネジメントー海外の最新動向と大学ICT推進協議会の新展開ー, 2011.06.
 3. 藤村直美, 戸川忠嗣, 笠原義晃, 伊東栄典, 姓名ベースにしたアドレスによる学生基本メールの運用について, 情報処理学会IOT研究会, Vol.2011-IOT-14 No.10 2011.07.
 4. 藤村直美, 教育・学習環境のパーソナル化のためのPC必携化, 第10回情報科学技術フォーラム, 2011.09.
 5. 藤村 直美, 井上 仁, 九州大学におけるOCWと教材開発, 日本工学教育協会, 2011.09.
 6. 安徳恭彰, 藤村直美, テキストファイルを用いた脚本記憶支援ソフトの開発, 芸術工学会, 2011.11.
 7. Naomi Fujimura and Hitoshi Inoue, Establishment of Innovation Center for Educational Resource, AROOC, 2011.11.
 8. Naomi Fujimura and Zen'ichi Hirayama, Usage and Experience with the File Sharing System with the Different Operation Policies, SIGUCCS Fall conference, 2011.11.

📄 研究内容

- ・ インターネットとコンピュータを活用した教育と技術移転
- ・ 共同利用のコンピュータセンターにおける管理・運用支援
- ・ 視覚障害者支援システムの構築

➔ 研究資金

- ・ 科学研究費補助金
 1. 2010年度～2012年度, 基盤研究 (C), 分担, 学習支援システムの履歴情報による教育改善のための客観的評価手法.

➔ 教育活動

- ・ 教育活動概要

教材の電子化, 出席情報の電子的な収集と提示, オンライン試験システムの導入など, OCW, WebCT
- ・ 担当授業科目
 1. 2011年度・前期, ネットワークサービス特論.
 2. 2011年度・前期, 情報処理演習V.
 3. 2011年度・前期, コアセミナー.
 4. 2011年度・前期, 芸術情報プロジェクト演習.
 5. 2011年度・前期, 芸術工学基礎演習.
 6. 2011年度・後期, ネットワークサービスデザイン.

➔ 大学運営

- ・ 学内運営に関わる各種委員・役職等
 1. 2010.10～, 統長特別補佐.
 2. 2010.10～, 情報統括本部長.
 3. 2009.06～2013.03, 教室系技術職員研修委員会委員長.
 4. 2010.10～2012.10, 事務情報環境専門委員会副委員長.
 5. 2010.10～2012.09, 全学情報環境利用委員会委員長.

吉田 素文

(医学研究院 教授・附属図書館副館長)

→ 所属学会名

日本外科学会, 日本医学教育学会.

→ 主な研究テーマ

- ・ 模擬患者の養成法
キーワード: 模擬患者, 養成
- ・ 臨床実習前あるいは臨床実習後、卒後研修におけるOSCEの開発と評価
キーワード: OSCE, 臨床実習前, 臨床実習後, 卒後研修
- ・ 臨床実習中の医学生の医療面接体験と効果的な学習法に関する研究
キーワード: 臨床実習, 医療面接, 医学生
- ・ 効果的な二次救命処置のカリキュラム、およびその指導法や講習会の運営法に関する研究
キーワード: 二次救命処置, カリキュラム
- ・ 入院体験実習の評価
キーワード: 入院体験, 態度教育

→ 研究業績

- ・ 学会発表
 1. 吉田素文「韓国の医師国家試験における実技試験の概要と考察」第43回日本医学教育学会大会, 2011.07.
- ・ シンポジウム
 1. 吉田素文, 菊川誠, 武富貴久子「診療参加型臨床実習の実施のためのガイドライン第二版(案)」平成23年度文部科学省先導的大学改革推進委託事業「医学・歯学教育の改善・充実に関する調査研究」医学チーム シンポジウム「参加型臨床実習をめぐって」, 2011.12.
- ・ 特別講演
 1. 「現在の学生教育について」, 第34回日本外来小児科学会教育検討会, 2011.10.
 2. 「九州大学における知の公共化の取り組み—課題と今後の展望—」, 大学出版部協会 2011年度編集部会秋季研修会, 2011.11.
 3. 「日本の医学教育の課題と展望」, 愛知医科大学 第5回医学教育ワークショッププログラム, 2011.12.
 4. 「教育プログラムにおける評価」, 第6回医療系eラーニング全国交流会2日目ワークショップ, 2012.01.
 5. 「医学教育における評価」, 大阪医科大学FD, 平成24年2月26日, 大阪医科大学

📄 研究内容

・研究活動分野：

基本的臨床技能の教育に関する研究、客観的臨床能力試験（Objective Structured Clinical Examination; OSCE）に関する研究、医療面接の教育に関する研究、模擬患者の養成に関する研究、二次救命処置の教育に関する研究、二次救命処置の指導法に関する研究、二次救命処置講習会の運営法に関する研究、医療系統合教育に関する研究、多職種連携教育に関する研究、医療系教育へのWBT（Web Based Training）の応用に関する研究、情報専門職の教育に関する研究

・論文

1. 神代龍吉, 北村聖, 志村俊郎, 福本陽平, 吉田素文「医師国家試験に対する医学教育者と初期研修医へのアンケート調査報告」医学教育 42 (5), 295-301, 2011.10.
2. 鳥添隆雄, 吉田素文, 中尾久子, 高橋一郎, 森元聡, 窪田敏夫, 小林大介, 岩切 詩子「九州大学における医療系学部の合同教育カリキュラム（医療系統合教育）について（シンポジウム27 臨床薬学アドバンス教育の構築：他学部・他施設との連携教育-（国立大・私立大の取り組みから学ぶ）, Enjoy Pharmacists' Lifestyles）」日本医療薬学会年会講演要旨集 21, 109, 2011.10.
3. 渡邊由紀子, 富浦洋一, 吉田素文, 岡崎敦「九州大学大学院「ライブラリーサイエンス専攻」の構想と意義」情報管理 54 (2), 53-62, 2011.05.

・著作

1. 吉田素文, 医学・歯学教育の改善・充実に関する調査研究最終年度報告書「第3章 診療参加型臨床実習の充実に向けての提言 平成23年度版」, 111-151, 2012.03.

➔ 教育活動

・担当授業科目

- 2011年度・前期, コアセミナー.
- 2011年度・前期, 医学入門.
- 2011年度・後期, 臨床医学基本実習.
- 2011年度・通年, 臨床医学実習「医療面接」.
- 2011年度・前期, 初年次総合科目「医学教育・研究発表技法」.
- 2011年度・前期, 統合教育科目「インフォームドコンセント」.
- 2011年度・後期, 統合教育科目「臨床倫理」.
- 2011年度・前期, 総合医学「医療コミュニケーション入門Ⅲ」.
- 2011年度・後期, 総合医学「診断学PBL」.
- 2011年度・前期, LSS「学習科学」.
- 2011年度・前期, LSS「コミュニケーション論」.
- 2011年度・前期, LSS「コミュニケーション演習」.

➔ 大学運営

・委員

- (全学) 教務委員会, 全学教育運営会議, 入学試験実施委員会, 入学者選抜研究委員会
- (医学科・生命科学科) 教務委員会, 入試委員会
- (医学系学府) 大学院委員会

・役職等

- 大学院医学研究院医学教育学部門医学教育学講座教授, 医療系統合教育研究センター業務主任, 附属図書館副館長, 附属図書館付設教材開発センター協力教員, 教育改革企画支援室員

岡田 義広

(システム情報科学研究院 准教授)

→ 所属学会名

米国電気電子工学会 (IEEE) , 米国計算機学会 (ACM) , 電子情報通信学会, 情報処理学会.

→ 主な研究テーマ

・ 3次元グラフィックス応用ソフトウェアに関する研究

キーワード: ソフトウェア部品化, 分散システム, ヒューマンインタフェース, コンピュータアニメーション

→ 研究業績

・ 原著論文

1. Kosuke Kaneko, Tomoyuki Nakamura, Yoshihiro Okada, and Hiroyuki Matsuguma, Open Device Control (OpenDC) : Human Interface Device Framework for Interactive Applications Including Educational Contents in Ubiquitous Environments, The 7th IEEE International Conference on Wireless, Mobile, and Ubiquitous Tehcnologies in Education (WMUTE 2012) , IEEE CS Press, 122-126, 2012.03.
2. Kosuke Kaneko, Tomoyuki Nakamura, Yoshihiro Okada, Dae-Woong, Kim and Hiroyuki Matsuguma, Device-to-Device Communication Framework Supporting Indoor Positioning System for Location-aware Interactive Applications, Proc. of GameOn-Asia 2012, 51-55, 2012.02.
3. Umair Azfar Khan and Yoshihiro Okada, 3D Terrain Generation and Texture Manipulation by Voice Input, Proc. of GameOn-Asia 2012, 71-75, 2012.02.
4. Okajima, S. and Okada, Y., Hierarchical Visual Motion Retrieval System for Distributed Motion DB and Its User Experiments, Special Issue of the International Journal of "Computer Systems Science & Engineering (CSSE)" on "Advanced Computing in Intelligent Large-Scale Distributed Systems.", Vol.27, No.1, 1-20, 2012.01.
5. Okada, Y. and Takano, S., Application Framework for Data Broadcast Contents Integrated with Web Services on Digital TV, Proc. of 15th Int. Conf. on Knowledge-Based and Intelligent Information and Engineering Systems (KES 2011) , Andreas Konig, et al. (Eds.) :KES 2011, 63-72, LNAI 6884, 2011.09.

📄 研究内容

・「3次元グラフィックス応用ソフトウェアに関する研究」

ソフトウェア部品の再利用性を高め、アプリケーションソフトウェアの開発コストを下げるためには、どのようなコンポーネントをどのようなフレームワークで結びつけばよいかというソフトウェアアーキテクチャーの研究を行っています。特に3次元CGアプリケーション開発支援のためのソフトウェアアーキテクチャーの研究を行っています。また、専門の知識のない人にも使える人にやさしいインタフェースをもつ計算機をつくりたいと考えています。ソフトウェアアーキテクチャーの側面から研究・開発を行っています。さらに、インターネットの普及により、時間や場所に制限されることなく、種々の情報を容易にやり取りできるようになりました。計算機により支援される種々の知的作業を複数の人で協調して行える環境をつくりたいと考えています。ソフトウェアアーキテクチャーの側面から研究・開発を行っています。

最近では、ビデオゲームの開発支援環境やデジタルTVのデータ放送コンテンツ開発、教育用コンテンツ開発、および博物館におけるデータ提示技術に関する研究開発を行っています。

6. Kaneko, K., Okada, Y. and Matsuguma, H., Open Device Control: Human Interface Device Framework for Video Games, Proc. of the European Simulation and AI in Games Conference (GAMEON 2011), 51-55, 2011.08.

・ 学会発表

1. 江頭茂寿, 岡田義広, Watershed法に基づく顔ポリゴンモデルのセグメンテーション, 第74回情報処理学会全国大会, 2012.03.
2. 長峰慶三, 岡田義広, 動画画像解析によるモーションデータの自動生成, 第74回情報処理学会全国大会講, 2012.03.
3. 中村智之, 金子晃介, 岡田義広, 携帯端末をデータ放送コンテンツの直観的な入力装置として利用可能とするフレームワークの提案, 第74回情報処理学会全国大会, 2012.03.

➔ 研究資金

・ 科学研究費補助金

1. 2011年度～2013年度, 基盤研究 (C), 代表, 具象化に基づく3次元CGコンテンツの自動生成と対話型進化計算を用いた最適化の研究.
2. 2010年度～2012年度, 一般研究 (B), 分担, 初修外国語による携帯電話用表現モジュールの開発研究.
3. 2009年度～2012年度, 基盤研究 (B), 分担, 主体的鑑賞と評価還元を可能にする「パーソナルミュージアムコンシェルジュ」の開発.

➔ 共同研究・受託研究

1. 2011.04～2012.03, 受託研究, 福岡IST, 分担, 放送通信融合時代の次世代共通社会情報基盤構築.
2. 2010.04～2011.03, 受託研究, 福岡IST, 分担, 放送通信融合時代の次世代共通社会情報基盤構築.

➔ 教育活動

・ 担当授業科目

- ・ 大学院システム情報科学府: 「3次元コンピュータグラフィックス論」
- ・ 理学部物理学情報理学コース: 「マルチメディア情報処理」, 「画像解析」
- ・ 全学教育[G30]: 「Basic of Information Processing」

井上 仁

(情報基盤研究開発センター 准教授)

→ 所属学会名

Association for the Advancement of Computing in Education, 情報処理学会, 人工知能学会, 日本教育工学会, 教育システム情報学会.

→ 主な研究テーマ

- ・ 情報通信技術を利用した教育支援のための研究と開発
キーワード: eラーニング, 教育の情報化
- ・ 昆虫学データベースの構築
キーワード: テキストデータベース

→ 研究業績

- ・ 学会発表等
 1. TAKAHIRO TAGAWA, Osamu Yamakawa, Koichi Yasutake, Takahiro Sumiya, Hitoshi INOUE, Finding Characteristic Part of Interaction inside SNS As the Learning Community, The 23rd annual conference of the Society for Information Technology and Teacher Education, 3791-3795, 2012.03.
 2. Naomi Fujimura and Hitoshi Inoue, Establishment of Innovation Center for Educational Resource and OCW activity, Informatics, Center for Information Science and Technology, Meiji University Vol.5, No.1 (2011 Asia Regional OpenCourseWare and Open Education Conference), 89-92, 2011.11.
 3. Kazutsuna Yamaji, Takeshi Nishimura, Motonori Nakamura, Noboru Sonehara, Hitoshi Inoue, Development for a Virtual Organization Platform: GakuNin-mAP and its Case Study in a Japanese Federation, TERENA Networking Conference, TNC 2011, 2011.05.
 4. 藤村直美, 井上仁, 九州大学におけるOCWと教材開発, 日本工学教育協会第59年会次大会, 2011.09.
 5. Naomi Fujimura and Hitoshi Inoue, The past, present, and future of OCW activity in Kyushu University, OpenCourseWare Global 2011, 2011.05.

→ 研究資金

- ・ 科学研究費補助金
 1. 2011年度~2013年度, 基盤研究 (C), 分担, 学習コミュニティのソーシャル・キャピタルに関

📄 研究内容

・ 情報通信技術を利用した教育学習支援のための研究と開発

近年、eラーニングを始めとする情報通信技術を利用した教育が組織的に実施されている。その成功のためには、教育の実施部局と学内の教育に関わる組織との連携と協力が必要である。そこで、教育工学の立場から、教育・学習を支援するための研究と開発を行なっている。具体的には、教材作成支援環境、ログ情報の分析に基づく知的利用支援環境、教育用計算機の知的運用管理、アクティブラーニングのための学習空間に関する研究と開発を行なっている。

・ 昆虫学データベースの構築

文献の蓄積・検索、論文の作成、自然言語の解析等、研究者の日常的な活動を支援する目的で、旧大型計算機センターで公開していたテキストデータベース管理システム「SIGMA」の開発に携わってきた。このSIGMA上の公用データベースとして、昆虫学データベースがある。より使いやすいユーザインタフェースの要求や、インターネットの普及に伴い、当センター以外からもデータベースを利用したいという要求が高まってきた。このような背景から、SIGMAの検索機能をWebサーバに組み込んだ昆虫学データベースシステムを開発し公開しており (<http://konchudb.agr.agr.kyushu-u.ac.jp/>)、その検索機能等の研究開発を行なっている。

する実証的研究。

2. 2010年度～2012年度，基盤研究 (C)，代表，学習支援システムの履歴情報による教育改善のための客観的評価手法。
3. 2010年度～2013年度，基盤研究 (B)，連携，学習コミュニティ形成のダイナミクスと学習効果の実証的研究。
4. 2009年度～2011年度，基盤研究 (B)，分担，アクティブ・ラーニングの鍵を握る学習空間の複雑系ダイナミクスと知識創発現象の解析。
5. 2009年度～2011年度，基盤研究 (C)，分担，授業可視化プラットフォームの構築。

・ 学内資金・基金

1. 2011年度～2012年度，教育の質向上支援プログラム (EEP)，分担，ICTによる自律的学習・教育体制の構築。
2. 2010年度～2011年度，教育の質向上支援プログラム (EEP)，代表，教材作成支援と教育情報発信プログラム。

➔ 教育活動

・ 教育活動概要

1. 2011年度～，統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻「情報システム論」
2. 2011年度～，統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻「情報リテラシー論」
3. 2011年度～，統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻「情報リテラシー演習」

・ 担当授業科目

1. 2011年度・後期，情報リテラシー論。
2. 2011年度・後期，情報リテラシー演習。
3. 2011年度・後期，ライブラリーサイエンス PTL I。
4. 2011年度・前期，情報システム論。
5. 2011年度・通年，特別研究 I。

➔ 大学運営

・ 学内運営に関わる各種委員・役職等

1. 2010.04～，新中央 (文系) 図書館基本計画検討WG委員
2. 2010.04～，情報統括本部 教育支援事業室 室長

部門紹介

Annual Report of
Innovation Center for
Educational Resource

2011



Educational Technology

エデュケーショナルテクノロジー部門

- ・インストラクショナルデザインに基づいた教材、
教育方法の開発・適用
- ・協調型・学生主導型学習の推進
- ・自律的な学習と実践力を育成する
教育技術の普及と促進



Contents Design

コンテンツデザイン部門

- ・双方向型3次元マルチメディアや
ゲーム性を活用した携帯端末やデジタル放送等の
新技術に対応する教材コンテンツの開発
- ・学習意欲を高めるコンテンツの作成技法や
作成効率を高めるツールの提供



Open Educational Resources

オープンエデュケーショナルリソース部門

- ・OCW、YouTubeなどを活用したオンデマンド学習の推進
- ・教育コンテンツを再利用するための著作権処理システム
- ・SNS(Social Networking Service)の活用
- ・教材の公開を通じた学内外で
知の公共化と学びの共同体の醸成

活動紹介

Annual Report of
Innovation Center for
Educational Resource

2011



講演会開催

実施日時: 2011年9月22日 (木) 15:00~17:00

実施場所: 九州大学中央図書館 新館4階会議室

内 容: 「MIMAサーチを活用したシラバスの可視化と次世代の教材開発への応用

講 演 者: 美馬秀樹氏 東京大学 特任准教授

参 加 者: 24名

実施日時: 2012年1月16日 (月) 13:00~14:00

実施場所: 九州大学中央図書館 新館4階会議室

内 容: 「オープンコースウェアとオープンエジュケーション」

講 演 者: 宮川繁氏 マサチューセッツ工科大学 教授

参 加 者: 31名

実施日時: 2012年3月21日 (水) 17:30~19:00

実施場所: 九州大学病院地区コラボステーション|視聴覚ホール

内 容: 「講義しない授業のすすめー Instructional Systems Designと携帯端末レスポンスシステムの応用 ー」

講 演 者: 松本尚浩 東京慈恵会医科大学 麻酔科学講座 講師

参 加 者: 37名



イベント参加

参加日時：2011年11月9日（水）～11日（金）10：00～18：00

参加場所：パシフィコ横浜展示ホールD

内 容：第13回図書館総合展にてブース出展

参 加 者：教員2名（吉田素文、井上仁）

テクニカルスタッフ2名（栃原幸恵、大串彰）

参加日時：2011年12月7日（水）～9日（金）9：30～17：00

参加場所：福岡国際会議場 2階多目的ホール

内 容：大学ICT推進協議会にてブース出展

参 加 者：教員2名（岡田義広、井上仁）

テクニカルスタッフ1名（栃原幸恵）

事務補佐員1名（牛島由美子）

参加日時：2012年2月18日（土）11：00～18：00

参加場所：九州大学箱崎キャンパス 創立五十周年記念講堂

内 容：Q-LINKS ポスターセッションに参加

参 加 者：教員1名（井上仁）

テクニカルスタッフ1名（栃原幸恵）

参加日時：2012年3月14日（水）14：30～

参加場所：千葉大学 西千葉キャンパス

内 容：アカデミック・リンク・センター開所式に出席

参 加 者：教員1名（吉田素文）



学会等の参加

参加日時：2011年9月8日（木）15：00～18：00

参加場所：函館大学

内 容：第10回情報科学技術フォーラム（FIT2011）にてパネル討論

参 加 者：教員1名（藤村直美）

参加日時：2011年9月9日（金）13：00～14：30

参加場所：北海道大学

内 容：第59回工学教育研究講演会年次大会にてパネル討論

参 加 者：教員1名（藤村直美）

参加日時：2011年11月8日（火）9：00～18：00

参加場所：明治大学

内 容：AROOC2011での論文発表

参 加 者：教員1名（藤村直美）

参加日時：2011年11月11日（金）13：00～20：00

参加場所：東京 ホテルモンテ銀座

内 容：BbDAY Tokyo2011参加

参 加 者：教員1名（井上仁）

参加日時：2012年3月12日（月）13：30～17：30

参加場所：慶応義塾大学 三田キャンパス東館6階

内 容：電子学術書利用実験プロジェクト公開シンポジウム参加

参 加 者：事務職員1名（芦北卓也）

参加日時：2012年3月21日（水）12：50～16：05

参加場所：広島大学 中央図書館ライブラリホール

内 容：教育情報化推進フォーラム参加

参 加 者：テクニカルスタッフ1名（柘原幸恵）



記者懇談会（プレスリリース）

参加日時：2011年12月21日（水）14：30～
参加場所：本部第一庁舎2階 第1会議室
内 容：教材開発センターの設置について
説 明 者：教員1名（藤村直美）

講習会

Annual Report of
Innovation Center for
Educational Resource

2011



Web学習システム講習会

9月20日(火)	14:30~16:00	病院地区(医学図書館情報サロン)
9月21日(水)	10:00~11:30	伊都地区(センター1号館1601教室)
9月21日(水)	13:00~14:30	箱崎地区(2階講義室)
9月22日(木)	10:00~11:30	大橋地区(大橋分室第3実習室)
9月27日(火)	15:00~16:30	筑紫地区(C-Cube e-ラーニング室)
2月20日(月)	13:00~14:30	病院地区(歯学部マルチメディア教室)
2月20日(月)	15:00~16:30	病院地区(歯学部マルチメディア教室)
2月22日(水)	9:00~10:30	病院地区(歯学部マルチメディア教室)
2月22日(水)	11:00~12:30	病院地区(歯学部マルチメディア教室)
2月22日(水)	14:00~15:30	伊都地区(ウエスト4号館305講義室)
2月22日(水)	16:00~17:30	伊都地区(センター1号館1501講義室)
2月23日(木)	13:00~14:30	箱崎地区(情報基盤研究開発センター2階講義室)
2月23日(木)	16:00~17:30	筑紫地区(C-CUBE2階eラーニングラボラトリー)
2月27日(月)	16:00~17:30	大橋地区(デザイン基盤センター第一実習室)
2月28日(火)	13:00~14:30	箱崎地区(情報基盤研究開発センター2階講義室)
2月29日(水)	10:30~12:00	箱崎地区(中央図書館)
3月1日(木)	14:00~15:30	伊都地区(ウエスト4号館305講義室)
3月1日(木)	16:00~17:30	伊都地区(センター1号館1501講義室)
3月2日(金)	16:00~17:30	大橋地区(デザイン基盤センター第一実習室)
3月28日(水)	10:00~11:30	大橋地区(第一実習室)
3月28日(水)	13:30~15:00	箱崎地区(情報基盤研究開発センター講義室)
3月29日(木)	16:00~17:30	箱崎地区(情報基盤研究開発センター講義室)
3月30日(金)	17:30~19:00	病院地区(図書館2階情報サロン)

Handbook講習会

9月12日(月)	10:00~11:30	伊都地区(ウエスト4号館305教室)
9月13日(火)	10:30~12:00	箱崎地区(2階講義室)
9月20日(火)	9:30~11:00	大橋地区(大橋分室第3実習室)
9月20日(火)	13:00~14:30	病院地区(医学図書館情報サロン)
9月27日(火)	13:30~15:00	筑紫地区(C-Cube e-ラーニング室)

資料

Annual Report of
Innovation Center for
Educational Resource

2011

撮影実績

公開コンテンツリスト

2012年3月

	イベント	タイトル	講師	YouTube	iTunes U	OCW
2011年度	前期講義	情報処理演習V	藤村直美 教授	○	○	○
		ネットワークサービス特論	藤村直美 教授	○	○	○
		G30 Undergrad 2011 Basic of Information Processing	岡田義広 准教授	●		
		学習科学	吉田素文 教授	○	○	○
		コミュニケーション論	吉田素文 教授	○		
	集中講義	水素エネルギー社会システム	岡野一清 (九州大学客員教授)	●		
	後期講義	基礎昆虫学	多田内修 教授	○	○	
		集団生物学	農学研究院教員	○ (一部)	○ (一部)	
	Open Seminar Keeping Kyudai's International Community Safe (国際部)			○		
	EEP成果発表会(学務部)			●		
	新Web学習システム講習会		井上仁 准教授	○	○	○
	iPadワークショップ(附属図書館)		井上仁 准教授	○	○	○
	QBS/博多駅オフィス記念シンポジウム			●		
	「ビブリオバトル首都決戦2011」予選会@九大			○		
I ² CNER Seminar Series	(年間計14本)		○	○		
I ² CNER 6拠点合同シンポジウム			○			
I ² CNER - ANNUAL Symposium			○			
ライブラリーサイエンス専攻 開講記念講演	大統領図書館の歴史と役割	シャロン・ ファセット氏 (アメリカ国立公 文書館大統領図 書館局長)	○	○		

	イベント	タイトル	講師	YouTube	iTunes U	OCW
2011年度	ライブラリーサイエンス専攻 オープンキャンパス	九州大学大学院ライブラリーサイエンス専攻の概要	渡邊由紀子 講師	○	○	
		教材開発とそのオープン化	井上仁 准教授	○	○	
	レコードマネジメント・シンポジウム ～レコードマネジメントが組織と社会を変える～			○	○	
	「ライブラリーサイエンスの 現在」 連続講演会	(年間計6本)		○	○	
	教材開発センター設置記念 講演	MIMAサーチを活用したシラバスの可視化と次世代の教材開発への応用	美馬秀樹 特任准教授 (東京大学)	○		
	九州大学創立百周年記念講演会	(計11本)		○	○	
	最終講義	(計18名)		○	○	

●限定公開

▶ ウェブサイト

センターの紹介や活動、教材コンテンツの公開などの情報を広く発信するため、教材開発センターウェブサイトを開発し、9月に公開、10月にリニューアルしました。

キーワードやカテゴリから講義動画などの教材コンテンツを検索することができます。



Annual Report of Innovation Center for Educational Resource

2011

ICER 九州大学附属図書館
付設教材開発センター
Innovation Center for Educational Resource

編集発行 九州大学附属図書館付設教材開発センター

住 所 : 〒812-8581 福岡市東区箱崎 6-10-1 TEL : 092-642-3983 E-mail : info@icer.kyushu-u.ac.jp
URL : <http://www.icer.kyushu-u.ac.jp>